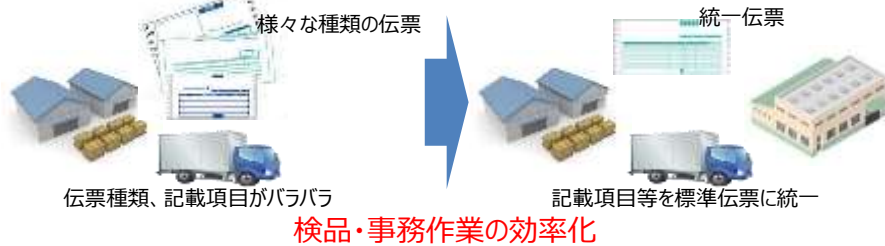


物流標準化に向けた検討

ソフト面、ハード面における標準化

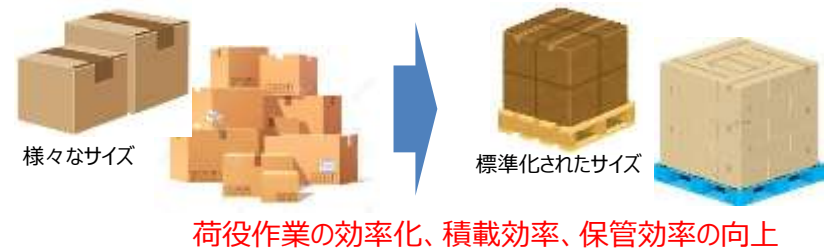
伝票の標準化

- 荷主等の事業者ごとに伝票がバラバラであり、記載項目も異なるため、荷積み、荷卸し時において非効率



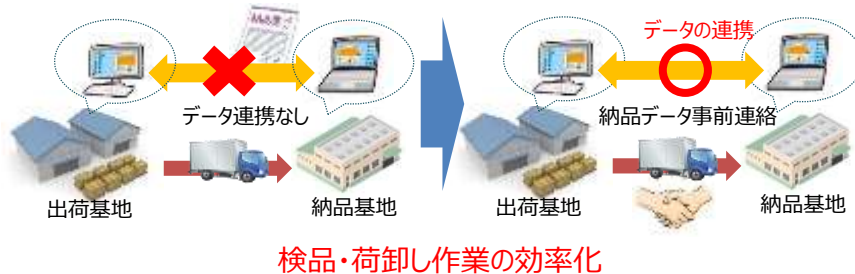
外装の標準化

- 様々な商品サイズ・形状により、パレット等への積載効率が低下するなど非効率



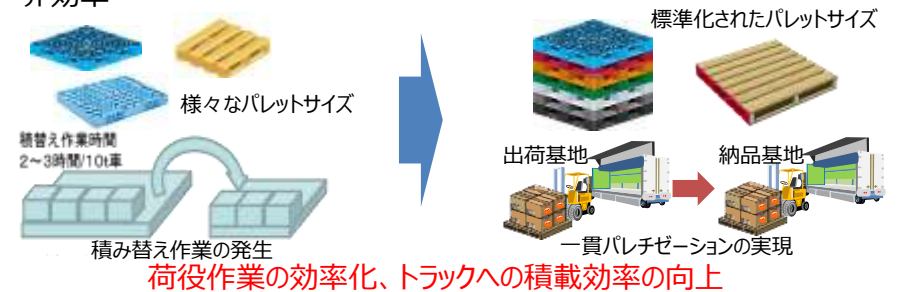
受け渡しデータの標準化

- 物流事業者と着荷主の間などで商品データが標準化された仕様で共有されていないことから納品時の賞味期限確認等の検品において非効率



パレットの標準化

- 様々なパレットサイズにより、積替え作業の発生や積載効率が低下するなど非効率



成長戦略フォローアップ（令和元年6月21日閣議決定）（抄）

物流事業者の人手不足に対して、個社の垣根を越えた共同物流を推進するため、伝票や外装、データ仕様等の標準化を図るための協議会を2019年度中に立ち上げ、アクションプランを策定する。

<加工食品分野における物流標準化研究会の開催（予定）>

- 開催：2019年度内に2回開催
- 構成員：有識者、業界団体、荷主、卸売業、物流事業者、行政